

2010年12月17日

## 横浜ゴムのベトナムのタイヤ生産子会社が第1期植樹を実施

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）のベトナムのタイヤ生産拠点であるヨコハマタイヤベトナム（Yokohama Tire Vietnam Inc.=YTVI）は12月11日（土）、「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの第1期植樹を実施した。

当日は従業員やその家族に加え、行政関係者やYTVIが所在する工業団地の管理委員会、地元の植物園関係者、地域の小学生や高校生にもご参加いただき、総勢230名で約1,600本の苗を植樹した。「自前の杜づくり」のコンセプトに則り、苗木や土づくりなどを従業員が中心となって行い、100%自前の苗を植樹した。

「YOKOHAMA 千年の杜」は横浜ゴム創業100周年の2017年に向けて、およそ10年かけて国内外の全生産拠点に杜を創生するプロジェクトで2007年にスタートした。宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）の指導の下、潜在自然植生に則った植樹活動を進め、国内7生産拠点※1と海外グループ会社の11生産拠点※2で約50万本を植樹する。国内は平塚製造所で第4期（中原工場は第3期、平塚東工場は第2期）、三重、三島、尾道、茨城、長野工場で第3期、新城工場で第2期を完了。海外は2拠点で第3期、4拠点で第2期、2拠点で第1期を完了している。現在までに国内外あわせて目標50万本の36.7%にあたる約18.3万本を植樹している。

※1：平塚東工場、中原工場は平塚製造所に含み1拠点とする。新城南工場は新城工場に含み1拠点とする。

※2：中国の3グループ会社は合同開催で1拠点とする。



参加者による集合写真



植樹の様子



横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な環境貢献活動を「EcoMOTION」と名付けています。

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）広報部 担当：木下  
TEL:03-5400-4531 FAX:03-5400-4570